メータオ・クリニック支援の会（ＪＡＭ）
会報メール　第 20 号　〔2010 年５月号〕

メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第 20 号をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足された NGO です。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＜目次＞　　〔ページ〕

ロゴマーク選考のお知らせ　（岡谷賢孝）　〔２〕

メソト・マンスリー　今月のメソトの様子をお知らせします。　（田辺　文）

・ バックパッカーヘルスワーカー研修始まる　〔４〕

・ きょうのゆめ　〔４〕

・ 嵐　〔５〕

国内から　（前川由佳）

・ ＪＡＭで何ができるだろう？　〔７〕

2010 年度スタディーツアー中止のお知らせ　（梶　藍子）　〔８〕

編集後記　〔９〕

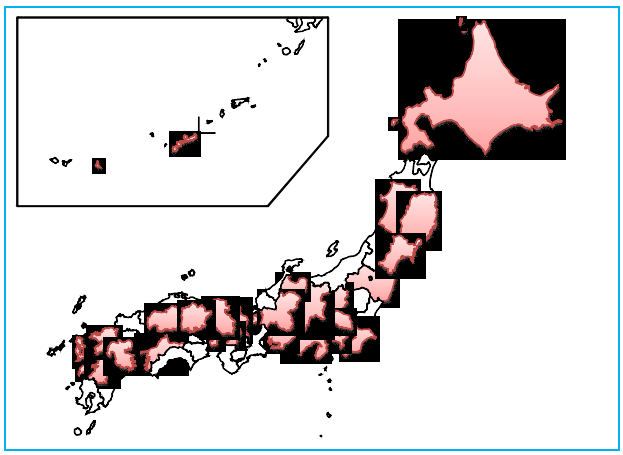
次号の予定　〔１０〕

ロゴマーク選考のお知らせ

【東京＝岡谷賢孝】

5 月 15 日（土）をもってロゴ募集を締め切りました。

100 通を超えるご応募ありがとうございました！！
応募のあった都道府県は 28 にのぼりました。（下記地図のピンク色の箇所）



2 か月間のロゴ募集に、これまで JAM とはあまり縁のなかった皆様にも、JAM やビルマの難民問題のことを知っていただくことができました。
引き続き温かいご支援と関心をお願いいたします。

そこで、このたびの JAM ロゴマーク選考に関して

この会報をお読みの賛助会員の皆様からも
ぜひＥメールよりご意見をお寄せください！

＜選考の基準＞（ロゴ募集要項より抜粋）

①メータオ・クリニック支援の会の活動を象徴する物。
②オリジナルである事。
③長い期間使え、広く受け入れられるもの。

＜選考する作品＞３つの賞がございます。

シンシア・マウン賞（最優秀賞、ロゴ採用）

ごぞんじメータオ・クリニックの創設者にして「顔」であるシンシア先生の賞です。

ターウィン賞（優秀賞）

メータオ・クリニック学校保健チームのプログラム・マネージャーの賞です。

JAM 特別賞（特別賞）

＜選考の要領＞

６月１日（火曜日）から、選考開始です！
（ただいま、大急ぎですべての応募作品をホームページにアップする準備中）

①**選考期間である６月１日～６月１５日の間**に
当会ホームページ（http://www.japanmaetao.org/）にアクセスしていただき、
応募されたすべてのロゴデザインおよび制作者の作成意図をご確認ください。

②以下の選考フォームの項目をご記入ください。

シンシア･マウン賞	都道府県　　様の作品
	選考理由（　　）
ターウィン賞	都道府県　　様の作品
	選考理由（　　）
JAM特別賞	都道府県　　様の作品
	選考理由（　　）

③メールの題名は**「ロゴマーク選考」**としてください。

④メールのあて先は、support@japanmaetao.org　（ロゴ募集企画　担当：岡谷）です。

※**選考は任意**です。無記名投票でもかまいません。
※**選考〆切は、６月 15 日（火）**です。
※郵送による選考は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

＜選考メールの記入例＞

題名　「ロゴマーク選考」

シンシア･マウン賞	東京　都　　JAM　様の作品
	選考理由（ JAMの文字が見やすく、いちばん洗練されていると感じました。 ）
ターウィン賞	青森　県　メータオ様　の作品
	選考理由（　ぱっと見てこれだ！と思いました。　）
JAM特別賞	鹿児島　県　ジャム　様の作品
	選考理由（　かわいくて好きです。　）

＊ご注意！＊
応募者によっては、複数のロゴ提案がございますので、

その中でどれを選考したかはっきりと分かるようにお書きください。

たくさんの選考、ご意見をお待ちしております。

メソト・マンスリー

今月のメータオ・クリニックの様子をお届けします。

【メソト（タイ北西部）＝田辺文】

バックパッカーヘルスワーカー研修始まる

メータオ･クリニックの関連団体であるバックパックヘルスワーカーチームの、3 ヶ月にわたる研修が 4 月末より始まりました。

ビルマ国内から戦火や貧困のためにタイ側に避難している人々はその状況や解釈によって「難民」または「移民」と呼ばれますが、ビルマ国内にはさらに 50 万人以上の避難民がいると言われ､「国内避難民:Internal Displaced People(IDP)」と呼ばれています。

国内には外国の支援が届きにくいため､難民/移民よりさらに状況は過酷であることが各証言や報告より明らかになっています。

こうした国内避難民の医療的救援活動に従事するのがバックパックヘルスワーカーです。1 チーム 2～5 人、全 80 チームからなるヘルスワーカーをメソトのオフィススタッフが支えています。

ほぼ全員が土地に明るい避難民地域の村の出身。ジャングルを何日もかけて歩き、基本的な疾病治療、外傷対応、駆虫薬やビタミン A の配布などを行っています。

バックパックヘルスワーカーは年に 1～2 回､医療物資の補給や研修のためにメソトを訪れます。

昨年は国境付近の不安定のために､集まったヘルスワーカーの数は限られてしまう結果となりました。

今年はベテランワーカーの知識向上を目標とし､通常より長い日程で専門性の高い研修を予定しています。

避難生活を 12 ヶ月続けると、子どもの死亡率は 2 倍､低栄養児は 3 倍になると言われています。自分の村では平和に暮らせていたにもかかわらず、避難生活に追い込まれた人々。彼らを直接救えるのは、同じ地域出身者だけです。

しかし､国際的な支援によって彼らの活動は支えられており、私たちの理解と協力が、常に求められています。

（写真：開講の様子）

きょうのゆめ

今月は、　ソー・デイ・デイくん　１７歳　です。

CDC 移民学校に通う 17 歳。
5 月から 9 年生（中学 3 年生）になります。
お父さんとお母さんとお兄さんはビルマ側に住んでいます。
村には中学までしかなかったのでタイ側に出て寄宿舎に住み、勉強を続けています。
お兄さんが学校に行くことを勧めてくれたので、がんばって勉強したい。

将来は働いてお金をためて、それか、奨学金をもらって、医学校に行くのがゆめです。

夏休み中、メータオ・クリニックに来て一生懸命ボランティアをしてくれました。

新学期、がんばってね～！

嵐　～ブログ　Borderless Border's より～

メソトに長い雨期の到来を告げる嵐がやってきました。

風にのってやってきた雨雲は、これから 9 月頃まで毎日雨を降らせます。

昨日のにわか突風で
患者寮（外来通院中に自宅が遠くて帰られなかったり、治療後でも自宅に問題があり帰られない患者さんとその家族を住まわせている建物）
の屋根の一部が破損しました。

雨漏りのためにトレーニングセンターに住民は避難。

そして今日の嵐。

たった 30 分ほどでしたが
激しい雨風で患者寮**の屋根が完全に破損し、破片がそこら中に散らばりました。**

もし、まだ、ここに人が住んでいたら・・・・

そう考えるとぞっとします。
昨日、避難しておいてくれて本当に良かった。

しかしこの患者寮はまだできて半年足らず。
あまりのもろさにがっかりします。

クリニックの建物の作りは、全体的にプレハブを少し良くした程度です。

クリニックの土地は借地であり、タイの地主から 5 年ごとに借地料が値上げされています。

「次は契約しません」

更新のたびにそう宣告されるようで

「5 年後にはどこか違う場所に移ろう」
その心から、どうしても建築を節約しがち。

しかし土地がすぐに買えるわけはなく。

少なくても、後 10 年は今の場所を更新し続けるしかないことが目に見えている。

そんな中、半年で壊れる建物。
しかも患者さんに危害を恐れがある。

これはあんまりです。

避難生活も引き伸ばされてもう 20 年。
落ち着いて定住できる場所を探し続けています。

（写真：患者寮）

★ ★　現地での活動を日々、更新中です！　★★　ぜひ、ご覧ください。

Borderless Border's　（田辺文のブログ）　http://www.japanmaetao.org/blog/borderless/

メータオ・クリニック支援の会ホームページにアクセス　⇒
活動・レポート・ＰＲ方法　⇒
「現地からのレポート」Borderless Border's

国内から

【東京＝前川由佳】

ＪＡＭで何ができるだろう？

ミンガラバー、トゥェヤァーダーワンターバーデー！(こんにちは、はじめまして)

私も JAM スタッフとともにビルマ語を勉強し始めましたので、ビルマ語でご挨拶させていただきました。

私は日本事務局を担当している前川と申します。
以前は会計を担当しておりましたが、現在は事務局として会員の皆様へメールの返信などをさせていただいております。
普段は手術室看護師として患者さんの手術中の看護を行っています。

はじめての会員の皆様へのお手紙、自己紹介も含めて私の今までの経験と、JAM について少しお話させていただきたいと思います。

学生の頃、タイの HIV 施設でボランティアをしたことがありました。
意気込んで訪れ、ボランティアをさせてほしいと申し出ると、

現地スタッフは意外にあっさり OK とのこと。

しかし、OK と言われただけで、何をしてほしいとか、どうしたらいいかとも言われず…

しばらく放心状態。

・・・しかし、少し考えて、そりゃそうだ、と気付く。

異国の地から来た日本人、何ができるかも分からない私に、あなたがやりたいことがあるならいいよと。

次の日から、必死に“私にできること”、を探しました。

痛い？
のど乾いた？
水？　　…少しずつタイ語も勉強して、ついに“私にできること”を発見しました。

それは、**マッサージ**。

実家で父へのマッサージを行っていた私はちょっとだけマッサージが得意でした。
動けなくて身体が痛いという患者さんに行ってみたら**意外に好評**！
次の日から予約？！が入っていきました。

何かできることを。
考えることの大切さ。

現在は個人ではなく、JAM の一員として活動しているわけですが、今もこの想い胸に抱きつつ、日々活動しております。

きっと会員の皆様も同じ想いではないでしょうか？

そして、こんなにも多くの会員の皆様の“何かできること”が集まったら、どんな支援の可能性が広がるんだろう…そう考えるとわくわくします。

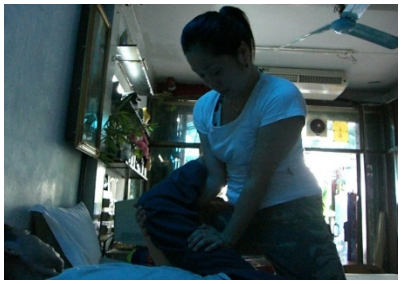
もし、こんなことができるんだけど…アイディアがありましたら、ぜひぜひ教えてください。

そこから、 また新たな笑顔が生まれるかもしれません。

ちなみに、私はタイでのボランティア後、もっとちゃんとマッサージを学ぼうとタイに残りタイマッサージを勉強してみました。

いつか、このマッサージによってメータオの人々に少しでも安らぎが届けられればと思っています。

ただ、しばらく行っていないので、復習しなければ…ですが。



（写真：タイマッサージ修行中）

スタディーツアー実施検討のお知らせ

【東京＝梶　藍子】

今年もJAM恒例のスタディーツアーの時期が迫ってきました。しかしながら皆様も連日の報道でご存知の通りタイ・バンコク市内において大規模な反政府運動が広がり現在日本の外務省はタイへ不必要な渡航をしないようにと注意喚起をだしています。そのため私たち、JAMの運営メンバーも会員の皆様方と実際にメータオ・クリニックへ訪問し語らえる場を楽しみにしていましたが、ツアーの安全を考慮し今年のツアーの実施を現在検討しております。ツアーを楽しみにされていた会員の皆様にご迷惑をおかけしております。

ツアーが開催されるメータオ・クリニックが立つ街、メソットは幸いなことに現在反政府運動は行われていません。またバンコク市内の紛争も現在鎮静化しており、徐々にではありますが市内の治安は回復しているということです。ツアーについての最新の情報は当会のホームページにてお伝えしていく予定です。どうぞよろしくお願い申し上げます。以下は現在当会が検討しているツアーについてのご案内です。ご参考にご覧になっていただければ幸いです。

2010年度メータオ・クリニック支援の会主催
スタディーツアー～タイ・ビルマ国境　難民診療所を訪れて～

2010年秋、日本政府ははじめて第3国定住先としてミャンマー／ビルマのカレン民族難民の受け入れを開始します。あなたも彼らの住む故郷の地を訪れて難民問題を医療の視点から考えてみませんか？

■ 日 時：2010年7月24日（土）～7月30日（金）　6泊7日
■ 参加費：　合計　100,000円前後（未定）
　※ご自身で航空券を手配しての参加は、参加者合流や周知の都合上、ご遠慮下さい。
■ 定 員：12名（応募多数の場合は先着順）。
■ 申込締切：2010年6月下旬

編集後記

最近のマイブーム。手ぬぐい集め。
写真は、コレクションの一部です。

「手ぬぐいを育てるのが趣味」と言う友達の買い物に付き合って
手ぬぐい屋さんに行っていたら、
柄の多さとかわいさと色の美しさに魅せられて
集めはじめました。

手ぬぐいは、持ち主の扱い方で触り心地も、色の落ち具合も変わります。
それを「育てる」という表現をするそうです。

最近、流行っているのか、いろんなお店で見かけます。
私の中で手ぬぐいを買うときに決めているルールは、
「お店の中で一番、気に入った柄を１枚だけ買う」

そのせいで決めるのに時間はかかります。
でも、その悩む時間は、大好きです。
私の育て方は、かなり豪快・・・かな？たぶん。

ちなみに手ぬぐいを育てる趣味の友人は、
毎日違う柄を使ったとしても、１年間は、違う柄を使い続けることができるらしいです。

次号の予定

次号の JAM の会報は、６月中～下旬ごろ発行の予定です。
ホームページは、随時更新していきますので　ぜひ、お時間があるときにご覧ください。
◇◆◇

メータオ・クリニック支援の会　　Japan Association for Mae Tao Clinic（JAM）

日本事務局宛てＥ メール　：　support@japanmaetao.org

ホームページアドレス　　：　www.japanmaetao.org

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。
◇◆◇